

# 張隆溪先生講演会

日時 2018年7月20日（金）

午後4時～5時半

会場 東京大学教養学部 18号館

4階コラボレーションルーム1



## 演題 **Aspects of World Literature**

使用言語：英語

発表者 張隆溪（Zhang Longxi）（国際比較文学会（ICLA）会長）

司会 菅原克也（超域文化科学専攻教授）

張隆溪氏は1981年に北京大学を卒業後、ハーヴァード大学大学院比較文学科に進学し、同大学より博士号を授与された後、カルフォルニア大学リヴァーサイド校を経て、1998年より香港城市大学教授として比較文学と翻訳論を講じておられる。英文及び中文によるおよそ二十冊の著書のなかからは、*Allegoresis: Reading Canonical Literature, East and West* が『アレゴレシス——東洋と西洋の文学と文学理論の翻訳可能性』（水声社、2016年）として既に日本にも紹介されている。

今回の講演は「世界文学の諸相」と題して、文学の翻訳可能性、文学の流通、ローカルな文学が帯びるにいたる世界性、そもそも世界文学とは何かといった、今日の文学批評の中心的な課題に関わる諸問題を、中国とアジアの視点から語っていただく。

※事前のご連絡なくご参加いただけます。直接会場までお越しください。

連絡先 東京大学比較文学比較文化研究室

電話 03-5454-6330 ファックス 03-5454-4325

E-mail : office@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp